

ハピネスやさと訪問介護事業所運営規程

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人アパティア福祉会が開設するハピネスやさと訪問介護事業所（以下「事業所」という。）が実施する指定訪問介護及び四日市市介護予防・日常生活支援総合事業第1号事業訪問型サービスならびに桑名市総合事業訪問介護相当サービス（A2）（以下「訪問型サービス」という。）の各事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の訪問介護員等が、要介護状態又は要支援状態にある者や訪問型サービスにあっては事業対象者（以下「利用者」という。）に対し、適正な訪問介護等を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業所の訪問介護員等は、利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介護その他の生活全般にわたる支援を行う。

2 事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市町、居宅介護支援事業者、他の居宅サービス事業者、その他の保健・医療・福祉サービスと綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次の通りとする。

- (1) 名称 ハピネスやさと訪問介護事業所
- (2) 所在地 四日市市千代田町325番地1

(職員の職種、員数、及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次の通りとする。

- (1) 管理者 1名（常勤専従）
管理者は、事業所の職員の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- (2) サービス提供責任者 1名以上
サービス提供責任者は、事業所における指定訪問介護等の利用の申し込み、関係機関との連絡調整、訪問介護員等に対する技術指導、訪問介護等計画の作成等を行うとともに、自らも訪問介護等の提供にあたるものとする。
- (3) 訪問介護員 2.5名以上（常勤換算）
訪問介護員は、利用者の心身の状況等を適格に把握し、指定訪問介護等

の提供にあたる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次の通りとする。

(1) 営業日は月曜日から日曜日までとする。

(2) 営業時間は午前8時30分から午後5時30分までとする。

ただし、サービス提供時間については相談に応ずる。

(指定訪問介護等の内容及び利用料等)

第6条 事業所は、居宅サービス計画書及び介護予防サービス計画書又は介護予防ケアマネジメント（以下「サービス計画等」という。）に基づき、次に掲げるもののうち必要と認められるサービスを行うものとする。

(1) 身体介護

(2) 生活介護

2 指定訪問介護等を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるもの及び四日市市、桑名市が定める基準によるものとし、当該指定訪問介護等が法定代理受領サービスであるときは、事業所に支払われる額を控除して得た額とする。

3 その他の費用の徴収が必要となった場合については、その都度利用者等と協議し、同意を得たものに限り徴収する。

(サービス利用にあたっての留意事項)

第7条 事業所職員は、サービス利用にあたり利用者が留意すべき事項を説明し、理解を求める。

2 事業所の諸規則を守ること

3 その他、公序良俗に違反する行為の禁止

(サービス提供の記録)

第8条 訪問介護員等はサービスを提供した際には、その提供日及び内容、その他必要事項を記録し、利用者からの申し出があった場合には、文書の交付その他適切な方法により、その情報を利用者に提供する。

(緊急時における対応方法)

第9条 訪問介護員等は、サービス提供時に利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに家族及び主治医に連絡するとともに生命の安全を図る等の措置を講じ、管理者及び介護支援専門員に報告しなければならない。

2 訪問介護員等は、サービス提供時に故意又は過失による事故が発生した場合、生命の安全を図る措置を講じるとともに家族、市町村、居宅介護支援事業所等に報告し、記録を記載し、各機関と連携して問題解決にあたるものとする。

- 3 訪問介護員等は、サービス提供時に天災その他災害が発生した場合、利用者の擁護等を最優先し、適切な措置を講ずる。また、管理者は日常的に、具体的な対処方法、地域住民など協力機関等との連携方法を確認しておく。

(苦情処理)

- 第10条 事業所は、提供した訪問介護等サービスに対する利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、相談窓口の設置、苦情処理の体制及び手順等必要な措置を講ずるものとする。

(損害賠償)

- 第11条 利用者に対する訪問介護等サービスの提供により、賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償をすみやかに行うものとする。

(虐待防止のための措置に関する事項)

- 第12条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催するとともに、その結果について、職員に周知徹底を図る。
- (2) 虐待の防止のための指針を整備する。
- (3) 職員に対し、虐待の防止のための研修を定期的に実施する。
- (4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

- 2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従事者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(身体拘束の制限)

- 第13条 事業所は、サービス提供にあたって、利用者の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わない。

- 2 なお、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合には、ご家族等の同意を得たうえで身体拘束等を行い、その態様および時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得ない理由を記録する。

(通常の事業の実施地域)

- 第14条 通常の事業の実施地域は、四日市市八郷地区、大矢知地区、下野地区、保々地区、富田地区、三重地区、桑名市、朝日町、川越町、木曾岬町とする。

- 2 通常の事業の実施地域を超えて行う指定訪問介護等については、通常交通費を徴収

することはしないが、利用に関しては担当居宅介護支援事業者との連携により利用を決定する。

(その他運営についての留意事項)

第15条 本事業の社会的使命を充分認識し、常に職員の質的向上を図るため研修等の機会を設けるとともに、業務体制を整備する。

(1) 採用時研修 採用後3ヶ月以内に3回以上

(2) 継続研修 年5回以上

2 職員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 職員であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、職員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、職員との雇用契約の内容とする。

4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人アパティア福祉会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年9月1日から施行する。

この規程は、平成19年6月1日から施行する。

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

この規程は、平成21年1月1日から施行する。

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

この規程は、平成27年8月1日から施行する。

この規定は、平成28年11月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和2年5月1日から施行する。

この規程は、令和2年11月1日から施行する。

この規程は、令和3年3月1日から施行する。

この規程は、令和3年9月1日から施行する。

この規程は、令和3年12月1日から施行する。

この規程は、令和4年9月1日から施行する。

この規程は、令和5年6月1日から施行する。

この規定は、令和5年12月1日から施行する。